



野田中だより

【学校教育目標】

志高く、学び考え実践する生徒
心豊かで、認め合い高め合う生徒
心身を鍛え、命を慈しむ生徒

『ほめて 認めて 励まし続ける』 川越市立野田中学校 令和8年6月1日 校長 澤村文香

よりよい学校を創るのは野田中学校の私たち自身です ～5月の学校朝会から～

入学、進級してから1ヶ月がたちました。1年生の皆さんは、小学校と大きく環境が変わり、忙しい1ヶ月だったと思います。よく頑張りました。2、3年生の皆さんも進級して、いろいろな場面で、学年全体として、また、個人的にも、新しい気持ちで頑張っている人がたくさんいました。職員室でも先生方から皆さんの話を聞いています。今日は、そうした皆さんの頑張りを、学校全体の高まりにつなげて欲しい、という気持ちからお話をします。

1961年、ケネディ大統領が就任演説で述べた言葉は、今でも語り継がれています。そのあいさつの一部を紹介します。アメリカの大統領ですから、当然英語のスピーチでした。AETの先生にお願いして、スピーチを代読してもらいました。

And so my fellow Americans, ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country.

(日本語訳) アメリカ国民のみなさん、国があなたに何をしてくれるかを問うのではなく、あなた方自身が、アメリカのために何ができるかを問うてほしい。

今から65年以上前の言葉ですが、私は、この言葉から今でも学ぶことがあると考えます。国民に対して、国にたよってばかりいないで、自分ができる事はないのかを考え行動してほしい、といった意味でしょうか。国を創っているのは一人一人の国民ですよというメッセージです。

この演説の「国」をたとえば、「学校」に置き換えてみたらどうでしょう。また、国を「クラス」に置き換えらどうでしょう。「部活動」では? 「団」では?

よりよい学校生活、だれもが過ごしやすい学校、を創るのは、皆さん自身です。先生にやってもらうのを待つ、また、やってもらうことを当たり前と考えていては、前へは進めません。よりよい「よい」の中身・意味も、人によって違ふかもしれません。私は、誰もが、安心して、学校で、クラスで生活できて、一緒に学んだり、いろんなことにチャレンジしたり、失敗したり、失敗を互いにフォローしあったり、そんな野田中学校で、野田中生であって欲しいと願っています。

この一ヶ月、それぞれの学年で、さまざまなことに一生懸命に取り組もうとする様子、より成長した姿を見せてくれて、皆さんの限りない可能性を実感し、とてもうれしく、頼もしく思っています。これからも、いろいろなことにチャレンジして、真の意味で「よりよい」野田中学校をみんなの力で創っていきましょう。

体育祭 ～ご声援ありがとうございました～

生徒たちは、ゴールデンウィーク明けから、団活動、競技練習、団旗やスローガン制作、放送・招集・決審・用具等の係活動に取り組み、また前日にはグラウンドの石拾い、ライン引き、テントやロープ張り、外トイレ清掃など、体育祭準備を行ってくれました。

体育祭は終わりましたが、準備や練習したこと、全力で競技に臨んだ経験、楽しい思い出、悔しい思い出等々、これから生活していく上での財産となったと思います。ぜひご家庭でも労ってあげてください。



5月28日(木) 体育祭全体練習最終回
実行委員長の呼びかけで全校生徒が円陣を組み
校歌を歌いました